

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



佐村河内守 交響曲第1番「HIROSHIMA」
【2013.8.13/コンサートホール】

佐村河内さんと会場で演奏を体感できて最高でした。演奏終了後のステージで作曲者と演奏者、指揮者、会場が一体となり感動的でした。(新潟市/60代/男性)

鳥肌が立つような、体中が揺さぶられるような、そんな音楽でした。大曲を全身で味わうことができました。佐村河内さんの強く深い想いが詰まった一曲。その想いの断片を感じられたように思います。(新潟市/30代/女性)



りゅーとぴあ発“物語の女たち”シリーズ
第3弾 奈良岡朋子出演 井伏鱒二「黒い雨」
～八月六日広島にて、矢須子～
【2013.8.2～3/能楽堂】

読んで伝えるという、実にシンプルでありながら奥深い朗読というものを体感できた時間でした。奈良岡さんの声の艶にただただ驚かばかりでした。(新潟市/40代/女性)

今年の6月に広島原爆ドームを見学してその熱線のすごさを実感し、また今日は奈良岡さんの朗読に眼を閉じて聴き入りました。涙が出ました。戦争はいけません。(新潟市/70代)



Noism2 夏の特別公演 in 新潟県政記念館
「鳩の反動 - The DOVE bounced off the language wall」
【2013.7.13～14/新潟県政記念館】

ダンスでしか表現し得ない何かを味わうことができ、よかったです。ダンサーと演出振付の山田勇気さんの可能性を見ました。たいへん素晴らしいかったです。(柏崎市/50代/男性)

今年見た「Noism2 春の定期公演」よりも表現力がアップした感じがしました。まだまだ伸びしろがありそうですね！(40代/男性)



スーパー能「世阿弥」
【2013.7.28/能楽堂】

能の鑑賞は2回目でしたが、その所作の美しさ、特に舞に魅せられました。口語調のスーパー能は、能という古典に不案内な初心者にもわかりやすかったです。これを機に能に対する理解を深めたいと思いました。(柏崎市/40代/男性)

現代語でわかりやすく、能に親しみきっかけになりました。最後の世阿弥が哀しむ姿に涙が出そうになりました。舞台の鏡板が外され竹林が見えて、涼しく感じました。(新潟市/60代/女性)

RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとぴあマガジン 2013 Autumn vol.34 | Life with Performing Arts

わかちあう、感動

Noism⁰¹ × Noism⁰²
10th season starts



【CONTENTS】
Spotlight Interview 野村萬斎
Noism Report
Ryutopia Navigation
オルガンの巨匠たち

ぶらりFURUMACHI
感動の余韻
読者プレゼント
りゅーとぴあカレンダー 2013 Autumn

撮影:篠山紀信

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント①

抽選で
ペア2組
4名様



イタリアンレストラン
「リバージュ」(館内3F) ランチ券

プレゼント②

抽選で
ペア2組
4名様



Noism1「PLAY2PLAY-干渉する次元」公演チケット
プレゼントチケットは12/22(日) 15:00の回1階席となります。ご了承ください。

応募方法:ご希望の商品名(①「リバージュ」ランチ券、②「PLAY2PLAY」公演チケット)、(1)住所、(2)氏名、(3)年齢、(4)職業、(5)電話番号、(6)本誌を入手した場所、(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.34プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募多数の場合は抽選。当選者の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2013年11月20日(水) 必着



～秋の味覚 きのこパスタフェア～
9/1～10/31(ランチタイム)

メニュー
★帆立貝ときのこのペペロンチーノ
★海の幸ときのこのトマトスパゲティ
★ベーコンときのこのカルボナーラ
★栗ときのこのリゾット
★生ハムときのこのピッツァ
※スープ、サラダ、コーヒー又は紅茶付き
各¥1,100(税込)

※館内イベント開催時等はご予約のお客様のみとさせていただきます。
※館内イベント状況によりラストオーダーの時間が異なりますのでお問合せください。

【編集後記】

おかげさまでりゅーとぴあは10月22日、開館15周年を迎えます。舞台芸術鑑賞の場として、また芸術活動の発表や練習の場として、今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。さて号の表紙は、9月で活動10年目のシーズンに入ったNoismメンバーたちを写真家の篠山紀信さんに撮影していただきました。りゅーとぴあを拠点として質の高い舞踊芸術を発信し続けるNoismにこれからもご期待ください!(編)

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ以外にも下記にて無料配布しています。
新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、新潟県ネスバス(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
■次号のりゅーとぴあマガジンvol.35は2014年1月1日発行予定です。

お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (休館日を除く 11:00～19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (休館日を除く 11:00～19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621 (休館日を除く 9:30～18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

『MANSAIボレロ』は 死からの再生、 そして新たな世界への 輝かしい跳躍。

りゅーとぴあ開館以来15年間、古典狂言のみならず、数々の新作舞台を上演し、新潟のファンに親しまれてきた野村萬斎。東日本大震災後、狂言の舞『三番叟(さんばそう)』とバレエ『ボレロ』の共通性に着目、『MANSAIボレロ』を発表してセンセーションを巻き起こした。11月の新潟での再演ではどんな「進化」を見せるのだろうか。



撮影:政川慎治

—— 15年間りゅーとぴあに通った感想を。

オープンのおかげで、市でやっていたら大変でしょうが、ずっと魅力的なラインナップ、新しい試みを発信し続けているのがすごいな、と。ある意味、日本の背中側で演劇の中心的役割を果たされていると思います。

—— 新潟で演じたものでとくに印象に残っている舞台は?

みんな思い出深いんですが、とくに創作的なものやらせていただいて、新潟のお客様の反応を見ることで新作を創っていき自信をいただいた。『まちがいの狂言』がそうでしたし、『オイディプス王』『Hamlet』も、アテネ、ロンドンに行く前に新潟でやらせていただいて創りました。それから東京でチケットを取れないから新潟まで来て観てもらえるのも、画期的であったな、と思います。

—— 新作のおかげで、古典狂言のお客様も増えました。

それは、僕らには理想的な形です。お客様にも、古典・新作両方見比べていただく楽しみがあるんじゃないでしょうか。

—— 7月の古典狂言では舞踊の『三番叟』で能楽堂が満員になったのもすごい。

ストーリーがある訳じゃないですからね。ただ、りゅーとぴあは金森(穰)さんのNoismを主軸の一つに

据えていて、舞踊を観る環境がある。11月にやる『劇場狂言』の『MANSAIボレロ』はアフタートークがあるんですが、金森さんにどう観ていただいたか、個人的にも聞いてみたいし、楽しみです。

—— その『ボレロ』、3年前の初演から大人気で、演出も再演するたびに変わっています。

いろいろ試していて、実は10月に世田谷(パブリックシアター)でまた試して、それから新潟。世田谷では紋付でやってみようかと思ってるんですが、果たしてどう進化するんでしょう(笑)。

—— そもそもなぜバレエの名曲『ボレロ』を踊るんですか。

モーリス・ベジャールの振り付けの印象が強いのではないのでしょうか。ボンピング、同じリズムの繰り返し、『三番叟』に似ている。というか、ベジャールは『三番叟』から振りを発想したのかもしれない。聞いてみたいくらいです(笑)。激しく足を踏む、下にプレッシャーが行くのは『三番叟』の特徴ですが、普段のバレエでは下には行かずに、上に行く。もともとは父(万作)が狂言で「やってみよう」と言っていたのですが、その機会がないうち、僕が芸術監督をしている世田谷で、ダンスも大事なメニューだということで、『ボレロ』をやることになった。東日本大震災直後でしたが、バレエダンサーの首藤康之さんが『三番叟』を踊って、狂言師の僕が『ボレロ』を踊るといった試みが最初でした。

—— 震災直後というのがキーワード?

ええ。だから再生がテーマ。死からの再生。それは日本人の感性からすると、避け「天の岩戸」。アメノウズメが踊って天照大神が岩戸から出てくる。まったくの闇・静寂の死の世界から、次第に動きのある生の世界へ。冬から芽吹く春への四季でもあるし、夜から夜明け、煌々とした真昼という1日でもある。最後にジャンプして新たな世界へ跳躍する。

—— 同じ『ボレロ』でもダンサーによってまったく別物になりますが。

父はショナ・ミルクが好きでした。ジョルジュ・ドンだとホモセクシュアルっぽくて、シルヴィ・ギエムだとまさに巫女ですね。世界観が違う。ダンサーによって別物になるのは当然です。

—— 見どころ、新潟のファンへのメッセージをお願いします。

『MANSAIボレロ』は、再生というテーマを15分に凝縮して、狂言師・野村萬斎が舞手としてどう舞うかがある。ラヴェルが作曲した洋楽と狂言としての身体、照明のセッション、ベジャールとは違った世界観をお楽しみいただきたいと思います。

取材・文:阿部聡

野村萬斎 Nomura Mansai / 狂言師

1966年生まれ。祖父故6世野村万蔵・父野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。狂言・能のみならず、舞台・映像などで幅広く活動するとともに、世田谷パブリックシアター芸術監督を務める。りゅーとぴあでは定例の『野村万作・萬斎狂言公演』のほか『劇場狂言』『オイディプス王』『Hamlet』『国盗人』『藪原検校』など。2012年芸術祭優秀賞ほか受賞多数。



悠久の歴史に刻まれた若く鮮烈な記憶

2013年夏、Noism2の4thシーズンラストを飾った、夏の特別公演『鳩の反動—The DOVE bounced off the language wall』。築130年の歴史ある空間は、若き魂との出逢いを経て、忘れがたい瞬間を悠久の時に刻み込む……。そして始まる、新たなシーズン。舞踊家たちの夏は終わりを告げ、自らの道を切り開いてゆくことになる。

『鳩の反動—The DOVE bounced off the language wall』より

2009年9月の設立から、この秋で活動5年目に突入するNoism2。4thシーズンのラストを飾るステージは、夏の特別公演『鳩の反動—The DOVE bounced off the language wall』。元Noismメンバー・山田勇気による演出振付作であり、Noism2のために創作された注目の最新作である。スタジオで開催される春の定期公演とは趣向を変え、今回舞台に選ばれたのは劇場に隣接する「新潟県政記念館」。130年の歴史を持つこの建築での上演は、山田たつへの希望であり、数年来の願いが叶い満を持しての実現となった。

明治16年に建てられた新潟県政記念館は、県政審議の殿堂として重要な使命を担ってきた国の指定重要文化財。



白漆喰の西洋建築は趣きに溢れ、静謐な佇まいが厳粛の想いを誘う。吹き抜ける議場に、ズラリと並ぶ傍聴席。我々はそこで、ひとつの事件の目撃者となる。しんと静まり返った会場に、ふらりと姿

をあらわす舞踊家たち。純白の衣裳に身を包んだ彼らの気配は透明で、危うく儂い。窓の外には庭園の緑が茂り、木々の息吹と舞踊家たちの淡いシルエツトが美しいコントラストを描き出す。至近距離にいながらも、舞踊家たちの生きる場所は遙かに遠い。地灯りに漂う生々しい空気が、時空を歪ませ、時の感覚を狂わせる。踊る喜び、困惑、あせり、微かな希望……。注視する傍聴者の視線をものともせずに、若い身体は全力で叫ぶ。声は次第に勢いを増し、うねりとなって会場を震わせてゆく。

ドラマティックな空間は、作品に力強いイマジネーションをもたらす反面、ときに情景に埋没する危険を孕む。しかし山田は、若い情熱をあえて悠久の歴史の中へと投げ、両者の対比を鮮やかに描写。神秘と格調、倒錯に迷宮と、全ての要素を集約し、確固たる幻想世界を構築してみせた。

カーテンコールで再び会場にあらわれた舞踊家たちの素顔は、初々しくまだあどけない。だが肉体は日を追うごとに刻々と変化を遂げ、目にするたびに脅威を覚える。未来だけをひたと見据える、無垢な眼差し。留まることない時間の中を、彼らは自身を信じひたすら駆ける。どれほどの可能性が潜んでいるのか、人々はそれぞれの想いと期待をその横顔に映す。



本作は、Noism2にとって大きな節目の意味を持つ。2013年9月より、山田がNoism2専属振付家兼リハーサル監督へ就任し新体制を構築。Noism2は再スタートを切り、春夏の年に二回の公演を行うなど、より密度の高い活動を目指すという。一方で、本公演を最後にメインカンパニーへと昇格を果たす者もいれば、研修生として研鑽を続ける者、カンパニーを去る者もいる。ひとりひとりがNoism2の一員として過ごした得難い経験と誇りを糧に、新たな一歩を踏み出してゆく。研修生カンパニーとして、いち舞踊家として、真価を問われるのはこれからだ。だが4年という月日を経た今、その土壌は着実に実りつつあるように思う。

取材・文:小野寺悦子 写真:村井勇



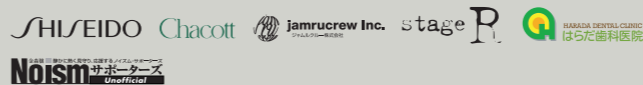
撮影:篠山紀信

Noism1『PLAY 2 PLAY— 干渉する次元』(改訂版再演)

2007年の初演から6年。音楽・衣裳も改訂し、新たなメンバーでの創作を経て、再演決定! Noism芸術監督・金森穰も2年半ぶりの出演!

【日時】2013年12月20日(金) 19:00・21日(土) 17:00・22日(日) 15:00 【会場】劇場
【出演】Noism1+金森穰
【入場料】一般/舞台上席¥5,000 1階席¥4,000 2階席¥3,000
学生/舞台上席¥4,000 1階席¥3,200 2階席¥2,400(全席指定)
【発売日】一般 10月19日(土)・会員 10月17日(木) ※神奈川公演:2014年1月24日(金)・25日(土) KAAT神奈川芸術劇場(ホール)

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは<http://www.noism.jp>「活動支援」/りゅーとぴあ事業課(TEL.025-224-7000)までお問合せください。

りゅーとぴあ劇場狂言 vol.12

Information

【公演日】2013年11月21日(木) 19:00開演 【会場】劇場
【内容】解説:野村萬斎、『茶壺』石田幸雄、『棒縛』野村万作
『MANSAIボレロ』野村萬斎、アフタートーク 野村萬斎×金森穰(Noism芸術監督)
【出演】野村万作、野村萬斎 ほか
【チケット】全席指定¥6,000
【発売日】一般9月27日(金)・会員9月26日(木)・パル9月21日(土)



RYUTOPIA NAVIGATION2013 AUTUMN/WINTER

2013年秋～冬のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

シュトラウスの世界を大編成オーケストラで!

第80回新潟定期演奏会／東京交響楽団
■2013.10.14(月・祝) 17:00開演
■コンサートホール

2014年シーズンから東響の音楽監督に就任するジョナサン・ノットが、新潟初登場! R.シュトラウスがドイツ・アルプスを登山した体験をもとに大自然を描いた「アルプス交響曲」を、大編成のオーケストラ(ホルンの数だけで約20本)でお聴きください。近年、ワーグナー、R.シュトラウス歌いとして評価の高いソプラノのブリューワーの歌声にも注目です。



ジョナサン・ノット
クリスティーネ・ブリューワー

大友直人指揮で贈るブラームス特集

第81回新潟定期演奏会／東京交響楽団
■2013.11.17(日) 17:00開演
■コンサートホール

東響の専属指揮者として20余年の経歴を持つ大友直人の指揮で、晩秋にぴったりのブラームスの曲を特集します。前半は天国へ誘うような美しいメロディが魅力的な合唱曲「運命の歌」「悲歌」にいがた東響コーラスの壮麗な歌声で。そして後半は全盛期のブラームスが書いた「ピアノ協奏曲第2番」を世界的なピアニスト、アンドレ・ワッツの卓越した演奏でご堪能ください。



大友直人
アンドレ・ワッツ

尾高忠明率いる札幌交響楽団がりゅーとびあ初登場

札幌交響楽団 新潟特別演奏会
■2013.10.26(土) 17:00開演
■コンサートホール

北海道唯一のプロ・オーケストラである札幌交響楽団が、音楽監督を務める指揮者の尾高忠明と共にやってきます。演奏曲はシベリウスの「交響曲第1番」をメインにした北欧音楽プログラム。北国のオーケストラらしく、シベリウスを得意とする札幌響の演奏にご期待ください。オーケストラファンの方は、新潟定期でおなじみの東響との聴き比べをぜひお楽しみください。



尾高忠明

ショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲を1日で全曲演奏!

アトリウム弦楽四重奏団
ショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全曲演奏会
■2013.12.7(土) 11:00～22:00
■コンサートホール

ロシアの若手カルテットが、たった1日でショスタコーヴィチの弦楽四重奏曲(全15曲)をすべて演奏するマラソンコンサート。ショスタコファンにとっては正に至福の1日! 伝説になること間違いなしの貴重な演奏会です。全15曲を第1番から第15番の順で3曲ずつ5回に分けて演奏。チケットはお得な全5回通し券(6,000円)と1回券(2,500円)がございます。



アトリウム弦楽四重奏団

21世紀の巨匠が奏でるショパンの名曲

スタニスラフ・プーニン ピアノ・リサイタル
■2013.10.27(日) 17:00開演
■コンサートホール

モスクワ出身で、1985年第11回ショパン国際ピアノ・コンクールに優勝。リサイタルやオーケストラとの共演で世界の聴衆を魅了し、日本にも数多くのファンを持つピアノ界の巨匠が、2009年以來4年ぶり(1)りゅーとびあで演奏します。曲はショパンの名曲「ピアノソナタ第3番」ほか。ピアノファン、ショパンファンには聴き逃さない、この秋注目のリサイタルです。



スタニスラフ・プーニン ©K.Miura

お手頃価格で東京交響楽団の極上サウンドを!

りゅーとびあ特別コンサート
～東京交響楽団 名曲コンサート～
■2013.10.17(木) 18:30開演
■コンサートホール

日本を代表するオーケストラである東京交響楽団の演奏で、クラシックの名曲を楽しめる毎年大人気のコンサート。デズニー・モデルに乗せて、ステージ上で演奏される様々な楽器の解説を聴くこともできるので、オーケストラ初心者の方には特におすすめです。チケット料金は1,500円という超お手頃価格。10月10日までの期間限定価格ですので、お求めはお早めに!(10月11日からは2,000円)



飯森範親

ピリオド楽器で聴く、珠玉のピアノ五重奏曲

りゅーとびあ・プライムクラシック1500 vol.14
「ピアノ五重奏」デンハーグピアノ五重奏団
■2013.10.7(月) 19:00開演
■コンサートホール

1,500円のお手頃価格で本格的なクラシックをたっぷり聴ける人気シリーズ。今回は、ファン・ワセナル国際古楽アンサンブルコンクールで1位に輝いたデンハーグピアノ五重奏団の演奏で、シュベルトの「ます」やピアノ五重奏の隠れた名作をお届けします。シュベルト時代のフォルテピアノ「グレーバー」の透明感あふれる多彩な音色と弦楽器のハーモニーは必聴です。



デンハーグピアノ五重奏団

音楽、語り、イメージで綴る宇宙の物語

ガリレオ・プロジェクト～天空の音楽～
■2013.11.20(水) 19:00開演
■コンサートホール

世界トップクラスの古楽アンサンブル「ターフェルムジーク・バロック・オーケストラ」によるヴィヴァルディ、ヘンデル、バッハなどバロック音楽の演奏と俳優・福士誠治が語る天空の物語、そして舞台上の特設パネルに映し出されるイメージ(画像)が一体となった21世紀の知的エンターテインメント! ニューヨーク・タイムズでも絶賛されたコンサートの日本初公演です。



ターフェルムジーク・バロック・オーケストラ



福士誠治

キャラメルボックス、10年ぶりの新潟公演!ラストシーンが異なるダブルエンディング

キャラメルボックス「ウルトラマリンブルー・クリスマス」
■2013.11.29(金) 19:00、30(土) 14:00開演
■劇場

新潟の演劇ファンのみならず、お待たせしました!数々のエンターテインメント・ファンタジーを世に送り出し、不動の人気を誇る演劇集団キャラメルボックスが新作を引っさげて10年ぶりに新潟へやってきます。今回は、クリスマスの夜に起きる奇跡を描いたアメリカ映画の名作「素晴らしき哉、人生!」をもとに、



物語の舞台を日本に置き換えて心あたまる作品をお贈りします。さらに新潟での二回公演は、ラストシーンが異なるダブルエンディング。どちらも見逃せません!
脚本・演出:成井豊
出演:阿部文二、西川浩幸
坂口理恵 ほか

開館15周年を寿ぐ祝賀の能

秋の能楽鑑賞会(宝生流)
■2013.10.26(土)【第一回】13:00開演【第二回】15:30開演
■能楽堂

本格的な能楽をたっぷり味わえる秋の能楽鑑賞会。今年はりゅーとびあ開館15周年を記念した特別公演をお届けします。〈第一回〉では、開館以来15年ぶりとなる「翁」を宝生流家元により上演。「能にして能にあらず」といわれ、天下泰平・国土安穩・五穀豊穡を寿ぐ特別な能をこの機会にぜひご覧ください。また〈第二回〉では、宝生流の重鎮・高橋章による祝賀能「竹生島」をお楽しみください。



秋能プレ講座

特別な能「翁」の見どころを能楽師のお話や実演でお楽しみください。
10月12日(土)
14:00～16:00 能楽堂
※詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

情緒豊かな美しい舞台

人形浄瑠璃 文楽
■2013.10.9(水)
【昼の部】13:30開演 【夜の部】18:00開演
■劇場

太夫の語り和三味線が一体となった浄瑠璃と人形芝居からなる伝統芸能「文楽」。今回は、若い男女のすれ違いを描いた「生写朝顔話」、複数の太夫・三味線の演奏と華やかな人形の動きが見どころの「花競四季馬」、義太夫の豪快さを味わえる「ひらかな盛衰記」など、文楽ならではの魅力たっぷりの演目をお届けします。字幕付きですので、文楽を初めて観る方も安心です。

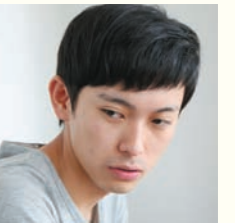


生写朝顔話

演劇界の若き才能が新潟初登場!

りゅーとびあNext Stage「NE/ST」第2弾
マームとジブシー 新作公演(タイトル未定)
■2013.12.6(金) 19:00開演、7(土) 14:00開演
■劇場

いま話題の演劇を紹介するシリーズ企画NE/ST(ネスト)に「マームとジブシー」が登場です。脚本と演出を務める藤田貴大は2011年に発表した三連作「かえりの合図、まった食卓、そこ、きつと、しおふる世界。」で第56回岸田國士戯曲賞を受賞。また2012年には他ジャンルのアーティストと共作を発表し好評を得るなど、演劇界内外から注目を集めています。その独自の表現で生み出される圧倒的な劇世界をこの機会にぜひご体験ください!



藤田貴大

日本を代表する新人オペラ歌手を一室に集めて!

日本新人オペラ歌手デビューコンサート
■2013.11.30(土) 17:00開演
■コンサートホール

日本を代表するオペラ団体「東京二期会」と「日本オペラ振興会(藤原歌劇団/日本オペラ協会)」に今年デビューした新人歌手の中から選ばれた20名が出演するオペラコンサート。演奏を聴いたお客さまからもう一度聴きたい歌手1名に投票していただき、票数の多い3人が来年度のコンサートに出演する(選手権!)というお楽しみ付きです。未来のスター歌手たちの演奏にご期待ください。



和泉万里子(東京二期会)



井出司(日本オペラ振興会)

荘厳なオルガンの音色でクリスマス気分を満喫

りゅーとびあ・オルガン・クリスマスコンサート
■2013.12.21(土) 15:00開演
■コンサートホール

クリスマスシーズンにおなじみの讃美歌やクリスマスソングを、パイプオルガンと金管楽器の多彩な音色で楽しめるクリスマス・コンサート。りゅーとびあ専属オルガニストの山本真希が心を込めて演奏する、厳かで清らかなクリスマスの聖夜を彩る名曲の数々をぜひお聴きください。お得なペア席もございましたので、お友だちやご家族と一緒に素敵なクリスマスの夜をどうぞ。



山本真希

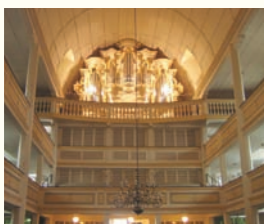
新春恒例のお楽しみ!聴き初めはアキラさんとアンベガで!

宮川彬良とアンサンブル・ベガ
りゅーとびあのニューイヤー・コンサート2014
■2014.1.5(日) 16:00開演
■コンサートホール

「クインテット」(Eテレ)などでおなじみのアキラさんが、人気と実力を兼ね備えた演奏者ぞろいのアンサンブル・ベガを引き連れ、来春もりゅーとびあへやってきました。華やかなサウンドで聴く幅広いジャンルの名曲とアキラさんの楽しいトークで、幸せ気分を浸ってください。4歳から入場できる大人気の「子どもたちへ贈る“アキラさんのお年玉”」も同日開催します。



宮川彬良



アルンシュタットの新教会



アルンシュタットの町並み

オルガンの巨匠たち

文 山本真希 写真提供:井上圭子

りゅーとびあ専属オルガニストの山本真希がオルガンの巨匠とその音楽について紹介します。

ヨハン・セバスチャン・バッハ 第2回

バッハの少年時代

音楽家一族という恵まれた家庭環境のもと、バッハの音楽的才能はのびのび育まれていきました。そんな幸せな少年時代を過ごしたバッハに、9歳で母を、翌年には父を失うという厳しい試練が訪れます。孤児となったバッハは、オールドルフでオルガニストをしていた長兄ヨハン・クリストフに引き取られることになりました。ここでバッハは厳格な兄から音楽教育を受け、アイゼナハで受けた初歩の音楽教育をより確実なものにしていきました。好奇心旺盛だったバッハは、まだ難しいからといって見せてもらえなかった兄の楽譜のコレクションを、皆が寝静まった真夜中、月明かりのもと何ヶ月もの間熱心に写譜しました。結局それらは兄に見つかり、取り上げられてしまいましたが、写譜することで、作品の形式や構成、作曲技法を学んだのです。

1700年、バッハは北ドイツ、リュートネブルクへ旅立ちました。バッハは聖ミカエル学校の給費生として聖歌隊に入り、並外れて美しいソプラノで大変歓迎されたそうです。当時、リュートネブルク最大の教会、聖ヨハネ教会では、ゲオルク・

ベームがオルガニストを務めていました。ベームは、舞曲やフランス音楽、特に讃美歌のメロディーを変奏する“コラール・バルティータ”を得意としており、バッハはベームのスタイルをお手本として、3曲のコラール・バルティータを書いています。また、北ドイツの巨匠として知られていたアダム・ラインケンとの演奏を聴くために、ハンブルクまで何度も旅行しました。ラインケンがオルガニストだった聖カタリーナ教会のオルガンは、北ドイツで最も有名で美しく大きなオルガンでした。バッハはそれまで聞いたことのないような鮮やかで豊かな響きやペダルの重低音に大変驚いたそうです。後に楽器鑑定や修復の監督をする際、それらは理想の響きとして反映されることになりました。北ドイツの巨匠たちやレパートリー、大オルガンとの印象的な出会い、リュートネブルクで得た収穫は大変大きいものでした。

そして1703年、18歳の青年バッハは、アルンシュタットの新教会のオルガニストに就任し、音楽家として本格的なキャリアを歩み始めることとなります。

(次号へ続く)

PROFILE Yamamoto Maki

大阪府出身。神戸女学院大学音楽学部、同専攻科卒業後渡独。ドイツのフライブルク、シュトゥットガルトでオルガンを学ぶ。第1回ドイツ・ランドゥスベルク国際オルガン・コンクール第3位。りゅーとびあ専属オルガニスト、大阪相愛大学オルガン科講師。新潟市在住。



オルガン・インフォメーション

- 山本真希オルガンリサイタルシリーズ グレンツィングオルガンの魅力 No.16「コラールの名曲 ～うけつがれる祈りと讃美」(10/13) ※7/17に開催を予定していたリサイタルの延期公演です。※公演情報の詳細は「りゅーとびあカレンダー」をご覧ください。
- 山本真希のCD「グレンツィングオルガンの魅力」(税込定価¥2,500) りゅーとびあ2Fインフォメーションで好評発売中!

ただいま本番中!

in りゅーとびあ

りゅーとびあで本番を迎える市民のみなさまの活動の様子をご紹介します。



「武居昌志メモリアル写真展～芝居と仲間たち そして…～」

8月23日(金)～25日(日) 【4階ギャラリー】

去る8月、4階ギャラリーで写真展が開催されました。演劇研究家として活躍された武居氏は、りゅーとびあでの子どもたちの芝居の演出や市民ミュージカルに携わるなど、会館と深い関わりがありました。活動を通して多くの方々と絆を結び、またご自身で様々なシーンを写真に収められてきました。「思い入れのあるこの場所で、仲間のみなさんへの感謝の気持ちを表したかった」と、主催者様は写真を厳選し、額の作成も含め仲間たちと一から手作りの写真展を企画されました。

今回、写真展を開くのもギャラリーをお使いになるのも初めて。「分からないことも多いなか、スタッフの方に

親身になって対応してもらい、大変満足でした。りゅーとびあはコンサートホールやスタジオがあり、公演や練習の帰りに立ち寄られる方もいて、いろんな方に観ていただけました」と喜びの声をいただきました。

このような写真展のほか絵画、書道など様々な展示会でご利用いただいております。作品にあわせてレイアウトが可能で、初めての方でもスタッフがしっかりサポートいたします。お気軽にご相談ください。

施設使用料:全日¥20,000(入場料を徴収しない場合)
附属設備:可動展示パネル、展示用スポットライト、控室1室

施設利用のお問合せは、りゅーとびあ施設課 利用サービス係 TEL 025-224-5621 (9:30～18:00)

りゅーとびあ SHOP 通信

りゅーとびあSHOP(館内2F インフォメーション)
営業時間 11:00～19:00(休館日を除く)

【8分音符マグカップ】 定価 各¥788

秋の夜長と言えば「読書」という方も多いのでは。お気に入りのマグカップに、コーヒーや紅茶など温かい飲み物を用意して、さらにリラックスタイムを楽しまれてはいかがでしょうか?

※りゅーとびあSHOPでは、音楽モチーフのグッズを中心にみやげやプレゼントにぴったりな商品を多数ご用意しています。ご来館の際はぜひお立ち寄りください。



ぶらりFURUMACHI

文・イラスト:迫一成(hickory03travelers)

vol.14

「チャレンジの秋?」

今年は長岡花火、新潟まつり、護国神社の万燈みたま祭など、新潟に来て以来一番たくさん打ち上げ花火を楽しめた夏でした。いろんなリズムの花火があるものですね。

忘れられない「らしさ」につながっている気がします。旅行や買い物、街歩きもきつとそうです。「らしさ」のある場所やお店、街に行きたいと思います。私たちの上古町やヒッコリーはどうでしょう。今年は例年以上に夏休みを利用しての県外からの旅行、帰省の方が多く来店され、上古町を楽しまれている様子でした。はじめての方、久々の方もとても多く、地域のお話をしたり、オススメのお店を紹介するのが楽しかったです。ですが、ちゃんと「らしさ」が伝わっているのか、となるときつとまだまだです。しっかり伝えていきたいと思ひます。試行錯誤ですが前進する気持ちが必要です。そこでオススメのイベントがあります。11月2日(土)に上古町で1番町～4番町の各番町がそれぞれ企画する門前市のようなもの開催します。番町



ごとに話し合い、「らしい」アイデアが出てきています。みなさん奮闘して、これまでのカミフル全体で行うものとはまた違う雰囲気のものになりそうです。こうやって、少しずつでも新しいチャレンジを継続させていければと思っています。ぜひ、みなさん、応援よろしくをお願いします。

PROFILE Sako Kazunari 1978年福岡県生まれ。2001年クリエイティブ集団hickory03travelers結成。「日常を楽しもう」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、アートイベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔軟に活動中。
<http://www.h03tr.com>

RYUTOPIA Before? After?



りゅーとびあでのコンサートや舞台鑑賞の前後に立ち寄りた「パートナーショップ」のお店をご紹介します。

ティオ・ペペ

りゅーとびあから東中通に抜け、柳並木に沿って歩くと、スペインほか地中海沿岸料理を得意とするティオ・ペペに辿りつく。某アーティストたちのお気に入り評判で、りゅーとびあ公演前後のお客様でも賑わう。季節ごとの料理を、地元の食材とともに味わえるので、県外のお客様にもおすすめ。料理教室や農業体験も開催し、トータルに食を楽しませてくれる。秋の夜長はタバコで乾杯!



新潟市中央区東中通一番町86-81
サカエビル1F
TEL 025-225-6677
【営業時間】月～木 17:30～24:00
金・土 17:30～27:00
【定休日】日曜日

パートナーショップ特典 ご注文の方にグラスワイン1杯サービス

パートナーショップとは?

りゅーとびあで開催された公演チケットが、りゅーとびあ友の会 N-PAC mate 会員証を提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。詳細はりゅーとびあホームページでご確認ください。※公演によっては対象外のものもございます。

「巨神兵器」竹谷隆之 作 ©2012 三馬カ-G

エヴァの原点は、ウルトラマンと巨神兵。

館長 庵野秀明 特撮博物館

ミニチュアで見ると昭和の味

2013年11月8日(金)～2014年1月21日(火)

新潟県立近代美術館 前売券発売中

前売券 一般 1,100円 大学・高校生 900円
当日券 一般 1,300円 大学・高校生 1,100円

※中学生以下無料 ※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方は無料。受付で手帳をご提示ください。

主催:「特撮博物館」新潟県実行委員会、新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟
企画制作協力:スタジオアフリ、三鷹の森ジブリ美術館
館長:庵野秀明 副館長:樋口真嗣 展示コーディネート:原口智生、西村祐次

篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN



山口百恵 1977年

2013年12月14日(土)～2014年3月2日(日)

新潟県立万代島美術館

前売券 10月4日(金) 発売開始

篠山紀信によるNoism写真展 会期中、美術館ロビーにて開催

前売券 一般のみ 800円
当日券 一般 1,000円 大学・高校生 800円

※中学生以下無料 ※障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方は無料。受付で手帳をご提示ください。

主催:新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、篠山紀信展新潟県実行委員会、販売新聞社、美術館連絡協議会
協賛:キャノンマーケティングジャパン、ライオン、清水建設、大日本印刷、担保ジャパン
協力:松竹(株)、りゅーとびあ、新潟市民芸術文化会館
企画協力:後援業務所+G.P gallery

<http://www.teny.co.jp/> 詳しくは、TeNYのホームページ「イベント情報」をチェック!!

